

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	掘削技術専門学校
設置者名	学校法人ジオパワー学園 理事長 沼田昭二

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	掘削科 ロータリー掘削コース	夜・通信	276	80時間	
	掘削科 スピンドル掘削コース	夜・通信	296	80時間	
	掘削科 掘削管理者養成コース	夜・通信	256	80時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページによる https://www.geopower-academy.ac.jp/public-information/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	掘削技術専門学校
設置者名	学校法人ジオパワー学園 理事長 沼田昭二

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>当学園は、掘削技術者の養成に特化した専門学校であり、カリキュラム及び授業計画(シラバス)の作成については、実務経験の豊富な専門家からの意見をもとに作成されている。</p> <p>また、掘削に関連する幅広い知識の習得を目的として、現場や非常勤講師及び常勤教員の意見を教務部長がまとめ校長許可により作成している。</p> <p>作成時期は、毎年3月末日とし4月中旬にはホームページにて公開する。</p> <p>さらに2種類の技能講習(選択科目)と9種類の特別教育を実施し生徒の技能資格の取得向上を図る。併せて安全教育では生徒が自ら危険を察知し予防することを身につけるための教育を実施する。</p> <p>授業の到達目標の確認については、前期課程終了後に各教科講師と教務部長が打合せを行い、後期課程の授業計画について確認する。</p> <p>成績評価は、学年末において各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等総合的に勘案して行う。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページによる</p> <p>https://www.geopower-academy.ac.jp/public-information/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、学年末において各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>定期試験の他、実習の成果、履修状況等の評価点により評価することで、1/4に該当する人数を把握する。</p> <p>「A」 100～80点 (合格) 「B」 79～70点 (合格) 「C」 69～60点 (合格) 「D」 59点以下 (不合格)</p> <p>ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学校事務室に常備し希望により閲覧可能
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定は、800時間単位を履修したものを認定する。 授業時間の足りない生徒には補講により対応する。</p> <p>卒業の認定は、学則18条で次のとおり定めている。 校長は、修了すべき学科目について試験を行い、合格者に対して終了を認定する外、実習については、実習の成績によって終了を認定する。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学校事務室に常備し希望により閲覧可能

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	掘削技術専門学校
設置者名	学校法人ジオパワー学園 理事長 沼田昭二

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページによる https://www.geopower-academy.ac.jp/public-information/
収支計算書又は損益計算書	//
財産目録	//
事業報告書	//
監事による監査報告（書）	//

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門	掘削科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年 年	昼	1,002 単位時間/単位	961 単位 時間/単位	248 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	199 単位 時間/単位
			1,408 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		13人	0人	3人	14人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 目標に沿った授業計画（シラバス）を教務部長が各講師と教員の意見を聞き作成し校長の許可を受ける。
成績評価の基準・方法
（概要） 定期試験の他、実習の成果、履修状況等の評価点により評価する。 「A」100～80点（合格） 「B」79～70点（合格） 「C」69～60点（合格） 「D」59点以下（不合格） ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定は、学則18条の定めにより行う。

学修支援等 (概要)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16人 (100%)	人 (%)	16人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 全国の掘削関連会社			
(就職指導内容) 会社説明会の開催、求人情報の提供、個別指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 2種の技能講習の資格取得、9種の特別教育の資格取得			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
掘削科	150,000 円	600,000 円	450,000 円	実験・実習費 250,000 円
	円	円	円	施設維持費 100,000 円
	円	円	円	設備維持費 100,000 円
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.geopower-academy.ac.jp/public-information/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校の教育理念・目的・運営・教育活動等について自己評価を行い、結果を踏まえて学校関係者評価を実施。評価項目は教育課程、進路指導など、評価委員は教育に関し知見を有する者として地元の町教育委員会次長、公営塾塾長 (高等学校長経験者) と関連業界関係者 2 名で構成され定数 4 名。評価結果については、次年度の教育内容・教育活動に反映し改善を図る。改善に向けては教務部長・事務部長が実施者、実施責任者は校長。自己評価、学校関係者評価ともにホームページに公開。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
白糠町教育委員会	1 年	教育関係機関
白糠町久遠塾	1 年	教育関係機関
株式会社アクアジオテクノ	1 年	関連業界関係者
地熱エンジニアリング株式会社	1 年	関連業界関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.geopower-academy.ac.jp/public-information/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<https://www.geopower-academy.ac.jp/public-information/>